

【佳作（環境生活部長賞）】

水問題を解決するために

登米市立津山中学校
三年 後藤 佑 月

私達の生活に欠かせない「水」。だが今、世界では、水不足や、水質汚染などの様々な問題が起きている。なぜこのような事が起きるのか。

一つ目の原因は、人口増加や産業の発展により、水の使用量が増えていることである。国連の新たな報告書によると、世界人口は現在の七十七億人から二〇五〇年の九十七億人へと、今後三十年で二十億人の増加となる見込みである。このまま人口が増えていくことで、水の需要に対して供給が足りなくなり、水不足はどんどん進むと考えられる。朝起きてから夜寝るまで、私達は様々な場面で水を利用している。飲み水はもちろん、歯磨きや洗顔、炊事にも水が欠かせない。私達の日常生活で用いられているこれらの水は、生活排水などとして海や川に排出される。このようなことで、水資源が汚染され、使用できる水は、さらに少なくなってしまう。

二つ目の原因は気候変動。今、話題のSDGsでも掲げられている問題が、水不足にも関係している。十七の目標のうち一つの問題、気候変動。これは、熱波や干ばつ、集中豪雨、大型台風などのこと。「気候に関する災害などが起きたとき、対応したり立ち直ったりできるような力を、すべての国で備えるようにする」などの目標が示されている。地球温暖化による、異常気象や降水量の変動。このことにより、水の利用可能量はとても不安定である。降水パターンの変動が激しくなり、月や季節ごとに水不足に陥る地域が多くなってしまう。この他にも積雪の早まりなど、気温上昇による問題も水源を減らす原因となっている。一方、異常気象による一定時期の大雨などは供給が多すぎるため、上手く水を使えなくなる。そして、水の汚染にもつながっていく。気候変動による影響は、地球温暖化に

もつながっていく。悪いことがたくさん重なってしまうのだ。SDGsの問題を解決するのはいつになるのだろうか。

三つ目の原因は、水源が守られていないことである。都市化が進むことで森林伐採も進んでいく。水を蓄積していた森も減少する。こうしたことによつて、限りある水資源がどんどん減っていつてしまうのだ。そして、排水による汚染。日本では浄水処理があるが、アフリカ諸国などでは、日々の生活を支える基盤となるガス・水道などインフラが整っておらず、汚染された水を飲み、命を落とす場合もある。その数は年間三十万人、毎日八百人以上のものほっている。汚染された水を使用せざるを得なくなり、安全で綺麗な水が減少していく一方であるということが分かる。手に入る水の量が少なくなり、清潔な状態を保てなくなると、病気にかかる可能性が高くなる。

このような水問題を解決するためにできることはたくさんある。一つ目は、節水を心がけること。歯磨きや料理、お風呂、洗濯など。私達が普段生活している中で節水を出る場面は多くある。水を出しっぱなしにしない。使う量だけ用意する、洗濯はお風呂の水を使うなど、工夫はたくさんできる。

二つ目は、生活している中で汚れを減らすこと。汚れのついたものは新聞紙などで拭いてから洗う、無駄にシャンプーや洗剤を使わないこと、などを考えることができる。

水不足の原因をふまえて、今、自分に何ができるのか考え、実践し、継続していくことが解決のカギとなる。私達一人一人が日々の生活の中で少しずつ意識すれば対策につながっていく。自分に出れることから始めていくべき時なのである。